

議会 だより



鳴門市
NARUTO CITY

発行／鳴門市議会
編集／議会広報委員会
発刊／2021年(令和3年)12月1日



<https://www.city.naruto.tokushima.jp/gikai/>

目次

令和3年第3回定例会の提出議案と議決結果	②
請願の処理、人事案件	②
意見書	③
委員会審査	④～⑤
一般質問	⑥～⑪
令和2年度決算審査	⑫～⑮
令和3年第4回定例会の開催について	⑮
ご意見箱、第4回定例会の日程	⑯



全国市議会議長会 第225回 理事会 第111回 評議員会

会場：都市センターホテル(東京都)
〈令和3年11月10日開催〉

林議長が評議員会で、学校給食費の無償化
について提案しました。

全国市議会議長会
第225回理事会・第111回評議員会合同会議



No.

117

《 令和 3 年 第 3 回定例会の提出議案と議決結果 》

議案番号	案 件	議決結果	所管の 委員会
議案第48号	専決処分の承認について（令和３年度鳴門市一般会計補正予算（第３号））	承 認	予算決算
議案第49号	令和３年度鳴門市一般会計補正予算（第４号）	原案可決	
議案第50号	令和３年度鳴門市介護保険事業特別会計補正予算（第１号）		
議案第51号	令和３年度鳴門市水道事業会計補正予算（第１号）		
議案第52号	令和３年度鳴門市モーターボート競走事業会計補正予算（第１号）		
議案第53号	令和３年度鳴門市下水道事業会計補正予算（第１号）		
議案第54号	鳴門市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	原案可決	総務文教
議案第55号	鳴門市総合運動場条例の一部改正について	原案可決	生活福祉
報告第８号	鳴門市観光コンベンション株式会社の経営状況について	報 告	産業建設
報告第９号	専決処分について（損害賠償の額の決定）		
報告第10号	令和２年度決算に基づく鳴門市健全化判断比率について	報 告	予算決算
報告第11号	令和２年度決算に基づく鳴門市資金不足比率について		
意 第１号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書	原案可決	
同意第５号	教育委員会委員の任命について	同 意	
同意第６号	公平委員会委員の選任について	同 意	
諮問第２号	人権擁護委員の推薦について	同 意	

請願の処理

請願番号	案 件	議決結果	所管の委員会
請願第13号	鳴門市阿波おどりの開催等を求める請願書	採 択	産業建設

人 事 案 件

〔同意第5号〕

●教育委員会委員

かい ようこ
甲斐 洋子 氏（大麻町）

〔同意第6号〕

●公平委員会委員

くじめ けいこ
久次米 恵子 氏（撫養町）

〔諮問第2号〕

●人権擁護委員

かけはし みちよ
梯 美千代 氏（大麻町）



コロナ禍による厳しい財政状況に対処し 地方税財源の充実を求める意見書

新型コロナウイルス感染症のまん延により、地域経済にも大きな影響が及び、地方財政は来年度においても、引き続き、巨額の財源不足が避けられない厳しい状況に直面している。

地方自治体では、コロナ禍への対応はもとより、地域の防災・減災、雇用の確保、地球温暖化対策などの喫緊の課題に迫られているほか、医療介護、子育てをはじめとした社会保障関係経費や公共施設の老朽化対策費など将来に向け増嵩する財政需要に見合う財源が求められる。

その財源確保のため、地方税制の充実確保が強く望まれる。

よって、国においては、令和4年度地方税制改正に向け、下記事項を確実に実現されるよう、強く要望する。

記

- 1 令和4年度以降3年間の地方一般財源総額については、「経済財政運営と改革の基本方針2021」において、令和3年度地方財政計画の水準を下回らないよう実質的に同水準を確保するとされているが、急速な高齢化に伴い社会保障関係経費が毎年度増大している現状を踏まえ、他の地方歳出に不合理なしわ寄せがなされないよう、十分な総額を確保すること。
- 2 固定資産税は、市町村の極めて重要な基幹税であり、制度の根幹を揺るがす見直しは家屋・償却資産を含め、断じて行わないこと。生産性革命の実現や新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として講じた措置は、本来国庫補助金などにより国の責任において対応すべきものである。よって、現行の特例措置は今回限りとし、期限の到来をもって確実に終了すること。
- 3 令和3年度税制改正において土地に係る固定資産税について講じた、課税標準額を令和2年度と同額とする負担調整措置については、令和3年度限りとすること。
- 4 令和3年度税制改正により講じられた自動車税・軽自動車税の環境性能割の臨時的軽減の延長について、更なる延長は断じて行わないこと。
- 5 炭素に係る税を創設又は拡充する場合には、その一部を地方税又は地方譲与税として地方に税源配分すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

※定例会で可決された意見書は、衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・内閣官房長官・総務大臣・財務大臣・経済産業大臣・経済再生担当大臣へ送付しました。

■ 議会広報番組 ■

〈放送内容〉

- ①令和3年第3回定例会
 - ・一般質問
 - ・常任委員会の審査内容
 - ・議決結果
- ②令和2年度決算審査
 - ・決算審査の流れ
 - ・予算決算委員会の審査内容
- ③市議会からのお知らせ

〈放送日〉

12月1日(水)～12月15日(水) 〈期間中毎日〉

〈放送時間〉

デジタル111ch
(8:00～／13:00～／23:00～)
デジタル122ch
(7:00～／12:00～／16:00～／
18:00～／21:00～／22:00～)



〔生放送・特別番組により放送されない場合があります〕

総務文教委員会

●議案第54号

鳴門市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報情報の提供に関する条例の一部改正について

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の改正に伴い、引用条項の改正を行うもの。

【質疑】 特定個人情報情報の利用目的の範囲は。

【回答】 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律では、税・社会保障・災害対策のうち特定のものに限定されており、市としては、独自利用事務として、地方税・社会保障・災害対策や、これらに類する事務のうち、当該条例で6項目を定めている。



【質疑】 6項目以外の事務についても、協議などにより利用することを可能とするような規定は、当該条例に記されているのか。

【回答】 そのような規定はない。

生活福祉委員会

●議案第55号

鳴門市総合運動場条例の一部改正について

スポーツ活動に対するニーズの多様化に伴い、鳴門市総合運動場の夜間照明施設に係る使用の制限を撤廃する改正を行うもの。

【質疑】 鳴門市総合運動場の利用状況は。

【回答】 野球やサッカー、ソフトボールなどに活用されており、令和2年度は年間147件、6752人が利用した。

【質疑】 11月から3月までの間の夜間の利用ニーズは。

【回答】 中学生のサッカーチームや硬式野球チームから年間を通して夜間に利用したいとの要望を聞いている。



鳴門市総合運動場

【質疑】 今後、硬式野球の練習に使用する場合には、防球ネットの高さを高くするなどの対策が必要ではないのか。

【回答】 これまで鳴門市総合運動場での硬式野球の練習は控えてもらっていたが、他に練習できる施設が多くないため、守備練習をはじめとしたバッティング練習以外の練習に限って使用してもらうこととしている。

産業建設委員会

●請願第13号

鳴門市阿波おどりの開催等を求める請願書

来春を目途に鳴門市阿波おどりの開催または代替の阿波おどり関連事業の実施の検討を求めるとともに、コロナ禍により疲弊した本市の阿波おどりが、以前のように活気を取り戻せるよう協力を求めるもの。

【質疑】 踊り手不足や練習場所の不足により阿波おどりの維持が大変な現状をどのように捉えているのか。

【回答】 連長会で踊り手の様々な意見を伺っていることから、今後、夏の開催に向けて、再度、ご意見をいただきながら全力で取り組んでいきたいと考えている。例年であれば4月から8月にかけて準備しているが、新たなコロナ対策も含めて、もっと早い段階から準備していくよう検討する。



【質疑】 鳴門市阿波おどりの開催にあたって、本市独自の開催基準の構築が必要であると思うが、市はどのような方針なのか。

【回答】 今年も実行委員会で詳しいガイドラインを作ろうとしていたが、構築前に阿波おどりの中止が決定したこともあり、今後本市の実情に合った形にガイドラインを構築していく必要があると考えている。

予算決算委員会

●議案第49号

令和3年度鳴門市一般会計補正予算(第4号)

新型コロナウイルス感染症対策 緊急支援策 第13弾として、引き続き事業者などへの支援策を盛り込むとともに、公立保育所再編事業や近年発生している局地的な集中豪雨などによる災害に備えるための防災事業など、緊急かつ必要性の高い事業を実施するため必要となる予算を計上するもの。

【質疑】 新たに購入予定の里浦栗津運動公園線・高島線を運行する地域バスは現行の26人乗りと比較して14人乗りと小さいが、この乗車定員で利用者のニーズを満たせるのか。

【回答】 26人乗りの地域バスについては、現在、走行不能となっていることから、10人乗りの予備車両で運行しているが、乗車することができなかった事例は発生しておらず、利用実態などの調査も行った結果、14人乗りでも、利用者のニーズを満たせるものと考えている。



【質疑】 今後の公共交通のあり方をどう考えているのか。

【回答】 令和4年度中に策定する「地域公共交通計画」において、今後の公共交通のあり方について検討したい。

一般質問

代表質問

①大石美智子(会派 創心クラブ)

1. 市長の政治姿勢について

- (1) プラスチックごみの取り扱いについて
- (2) ごみ焼却施設について



②圃山 俊作(会派 潮)

1. 市長の政治姿勢について

- (1) 新型コロナウイルス感染症について
- (2) 鳴門市文化会館について
- (3) 次世代エネルギーについて



③長濱 賢一(会派 青藍)

1. 人事行政について

- (1) 人事行政の現状と課題について
- (2) コロナ禍における人事について



④高麗 裕之(会派 有志会)

1. コロナ禍におけるごみ問題について

- (1) コロナ禍によるごみの量について
- (2) ごみ収集時の感染症対策について
- (3) ごみ袋の無償配布について

2. 成人式のあり方について

- (1) 令和4年の成人式の開催について
- (2) 民法改正による成人式の対象年齢について



⑤松浦 富子(会派 公明党)

1. 市長の政治姿勢について

- (1) 防災・減災対策について

2. 持続可能な開発のための教育(ESD)について

- (1) 各学校の現状と課題について
- (2) 教職員への研修について
- (3) 地域との連携について



⑥宅川 靖次(会派 平成なると)

1. 環境行政について

- (1) 墓地管理について

2. 経済対策について

- (1) 農業用排水機場の整備に係る負担軽減について



プラごみの出し方

問 汚れのあるプラごみを燃やせるごみとした理由は。

答 プラスチック容器の取引には品質基準があり、汚れた物が入るとリサイクルできない。また、リサイクル協会への委託料に年間50万円から70万円支出し、分配金は5万円程度であり、分別に係る人件費は約1510万円である。



プラスチックごみ

令和5年度以降の

運転管理業務の委託は

問 施設運転管理の委託料1億2500万円で三機化工と15年間の保証を約束した覚書を結んでいるが既に14年目。その後の委託は。

答 機械を熟知した系列会社が運転管理することは、トラブル発生時に対応を迅速に行えるなどのメ



会派 創心クラブ
おおいし みちこ
大石美智子

今後のごみ焼却施設の 搬入路は

リットがあるが、競争原理が働かず、価格面で不利になる可能性がある。新規参入を含め、十分検討していく。

問 環境省には、ごみ焼却場の新設および改修に循環型社会形成推進交付金として費用の3分の1を助成する事業がある。焼却施設の耐用年数約20年とすると、あと6年少々であり、交付金も踏まえ検討すべきではないのか。また、地域の方々の約束である計画当初のごみ搬入路についてどのように考えているのか。

答 大規模改修を見据え、国の交付金の活用に必要な循環型社会形成推進地域計画の策定を検討したい。搬入路については、相当な事業費を要する課題があり、引き続き検討して参りたい。

要望 新施設建設計画は、近隣町との広域事業として検討してはどうか。本市のごみ施設だけでも迷惑施設であるが、地域要望の搬入路の事業費も広域自治体で協力し合えば負担軽減される。搬入路の実現のため、検討されることを提案する。



会派 潮
はたけやま しゅんさく
圃山 俊作

ブースター接種の実施は

問 昨年発生し、1年以上さまたげな対策が行われているが、残念ながら現状においても収束の兆しが見えない新型コロナウイルス感染症対策について、3回目のブースター接種を実施することは考えているのか。

答 多くの医療機関で実施している個別接種や大規模な集団接種については、10月末で一旦終了し、11月以降については、新たに12歳を迎える方への接種など、市民のニーズなどを勘案し、限定的な接種に移行することを想定している。国においては、ワクチン接種による予防効果の維持のために3回目の接種を行う、いわゆるブースター接種の検討が進んでいる。本市としては、実施が正式に決まれば、医師会をはじめ医療従事者との連携、予約管理の徹底、市民への丁寧な情報提供などを踏まえた安心、迅速、円滑なワクチン接種に取り組んでいく。



鳴門市文化会館の耐震改修の進捗状況は

問 今年3月に休館した、耐震改修検討に入っている文化会館について。

答 鳴門市文化会館の耐震化については、本市の最優先課題の一つとして考えている。耐震改修をする方向で検討するとの方針は堅持しているが、耐震化事業全体を通じて、耐震改修工事の検討、設計、施工、設備の更新、維持管理を含めて大きな財政負担となるため、慎重に進めていく必要があると考えている。現在、適正規模調査を精緻に進めており、その結果に基づいて具体的な方針を決定していく。



会派 青藍
ながはま けんいち
長濱 賢一

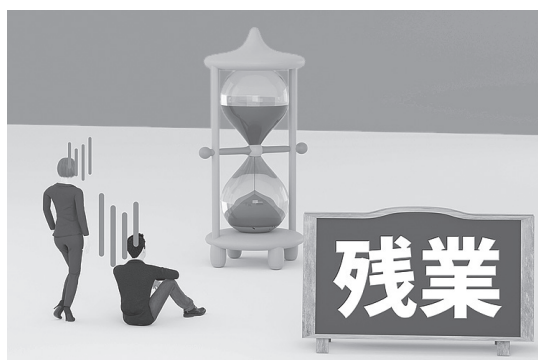
人事行政の課題解決を

問 スーパー改革プラン2020での人事行政の現状と課題、職員の離職率、80時間/月（過労死ライン）を超えるコロナ残業、人員や人材不足、定年延長制度への対応、兼職を含む民間人材の登用について問う。

答 スーパー改革プランの目標職員数は、567人だが、現在は新型コロナウイルス感染症対策や重要案件への対応のため、571人である。組織の年齢構成は一部偏りがあり、また、平成28年度から平成30年度までの採用者において、採用後3年以内の離職率は、13・3%（8/60人）のため、採用時の年齢条件変更や民間経験者枠の採用で年齢構成の平準化、職務環境の充実に取り組む。また、コロナ残業が100時間超の職員もあり、他部署との兼務職員や会計年度任用職員の任用等など勤務状況の改善に取り組む。定年延長制度（60→65歳）導入により、役職定年制や定年前再任用制度で多様

な働き方を選択でき、知識や経験の継承により組織の活性化を図る。また、民間活力の導入、事業委託、派遣職員の活用等で業務の効率化を図る。今後、必要に応じ、期限を定めた外部人材の登用なども含め、適切な人材確保の在り方について研究していく。

要望 緊急時のコロナ対応施策に最前線で従事している職員に対し、柔軟な組織・機構の変更、人員の補充、特別手当の支給などの配慮、また、非常時には他部署への職員の配置ができるような部署の設置を提案する。コロナとの共生社会への対応に際し、大都市からの人材採用を行うことで、人口減対策にもつなげて欲しい。





会派 有志会
こうらい ひろ ゆき
高麗 裕之

生活支援として

ごみ袋の無償配布を

問 コロナ禍に入り在宅時間も増え、ごみの量も増えている。家庭から出るごみが増えていることから、生活支援策として全市民にごみ袋を無償配布してはどうか。

答 本市の指定ごみ袋の無償交付は、経済的に支援が必要な世帯の負担を軽減することを目的としている。昨年度、新型コロナウイルス感染症における生活支援の一つの施策として、新たに就学援助受給世帯を交付対象に加え対象者を拡充した。今後は、生活支援策としてのごみ袋の無償交付は、適宜適切に対応したい。

要望 こんなときだからこそ、生活支援策としてごみ袋の無償配布を強く要望する。

人生の思い出に残る

成人式を

問 延期にしていた令和3年成人式が中止になった。令和4年の成人式が

開催予定、開催日と開催場所はどこになるのか。また、民法改正に伴い、令和4年4月1日から成人年齢が18歳に引き下げられる。令和5年以降、鳴門市では成人式の対象年齢を何歳からと定めるのか。

答 令和4年の成人式は、来年1月8日、鳴門・大塚スポーツパークアミノバリュールホールでの開催を予定している。令和5年以降の成人式の対象年齢は、現行どおり、その年度に二十歳となる者とする。対象年齢を18歳に引き下げた場合、成人式が大学受験や就職準備などの時期と重なり、対象者や保護者に大きな負担がかかることや二十歳を対象とすることが定着していることなど、関係機関の意見を参考にしたい。令和5年以降は、式典の名称を「はたちの記念式典」と改める。



要望 新成人の輝かしい未来を応援し、コロナ収束後に改めて集まる機会を企画してもらいたい。



会派 公明党
まつうら とみこ
松浦 富子

体育館への空調整備

問 避難所としての小・中学校の空調整備についての市の考えは。

答 今後、快適避難所空調設置モデル事業のモデル校の空調設備のランニングコストや避難所としての快適性に関するデータなどのほか、先行事例を参考にして、災害時や平時における教育環境への効果を含め、引き続き調査研究していく。



災害時に避難所環境の充実が求められる
小・中学校の体育館

新庁舎の防災機能

問 新庁舎が令和5年秋頃完成予定だ

が、防災・減災対応の拠点機能、地震や津波対策、ライフラインの確保などの防災対策について市の考えは。

答 新庁舎は、本市の防災・災害対応拠点として、南海トラフ巨大地震や中央構造線活断層地震などの発生時においても大きな損傷を受けたり機能を損失したりすることなく、その後の応急、復旧、復興の各階段において必要な行政機能を維持できる安全・安心な庁舎としていく。今後、もしもの時にいつもの場所を活用できる防災機能が強化されたフェーズフリーな庁舎の実現を目指していく。

持続可能な開発のための教育ESD

問 各学校のESDの現状と今後の進め方、展開について市の考えは。

答 持続可能な未来を築くための視点・道標となるSDGsの達成に向け、その持続可能な未来を築くためのESDの見方・考え方を学ぶことが重要であり、ESDの考え方に沿った教育が行われることとなる。子供たちが持続可能な社会のつくり手へと成長できるよう取り組む。

代表質問

問現在、実施している生産者の経営負担の軽減に向けた農業用排水機場

**農業用排水機場の
管理にかかる負担軽減**

答本市では、これまで墓地に倒れかかっている大木の除去や豪雨による通路の陥没など、危険で早急な対応が必要であるものの地域では対応できない事業について修繕などの対応をしている。市有墓地の管理については、墓地ごとに慣習などが異なるため、地域住民による管理が望ましいと考えており、今後も引き続き管理組合の設立を働きかけるなど、地域による適切な管理ができるよう努めていきたい。

今後の墓地管理

問地域の市有墓地の利用者の減少により、墓地の管理をはじめ先祖供養の祭祀活動の継続も困難になりつつある中で、今後、市有墓地をどのように管理していくのか。



会派 平成なると
たくかわ やすじ
宅川靖次



農業用排水機場

答農業用排水機場の整備の際には、原則として「土地改良事業の経費の賦課徴収に関する条例」により、受益者から賦課金を徴収するなど受益者の協力を得ながら維持管理を行っているところであるが、排水機場の整備や更新修繕に関しては、その費用が多額となることから、生産者に大きな負担がのしかかっている。このため市としては、農業用排水機場が近年の気候変動により、雨水や道路排水などを含めた市民生活の安全を守る重要な機能を兼ね備えていることを考慮しつつ、近年の農業を取り巻く厳しい環境の変化に対応するため、受益者の負担軽減について時期を見極めながら賦課率の見直しを検討している。

個人質問

個人質問

①平塚 保二

1. 水環境施策について

- (1) 公共下水道事業について
- (2) 合併処理浄化槽の普及促進について



②宮崎 明

1. 防災拠点施設の整備について

- (1) 大麻分署庁舎の建設に関する基本計画について

2. 空き地対策について

- (1) 空き地適正管理に関する条例の制定について



③上田 公司

1. まちづくりのあり方について

- (1) 人口減少の抑制について
- (2) まちづくりの構想について

2. 新型コロナウイルス感染症への対応について

- (1) コロナ禍における支援について
- (2) ワクチンハラスメントについて

3. 環境政策について

- (1) 指定ごみ袋制度について
- (2) ごみ収集車について

④三津 良裕

1. 鳴門市人口ビジョン2020について

- (1) ウイズコロナ・アフターコロナを見据えた対応について



※一般質問は、新型コロナウイルス感染症対策のため、座席の間隔を広くし、アクリル板を使用して行っています。





ひらつか やすじ
平塚 保二

汚水処理構想の問題点

問 私の12年間の議員生活のなかで、汚水処理構想の問題点について項目を絞って伺う。要約し明瞭な答弁を求める。

1点目は、人口減少が進んでいる本市において、まず下水道整備延長施策ではなく、一旦中止を含む凍結をなすべきと考えるが。

2点目は、特に下水道の費用負担の中の3点セットのなかで受益者負担金について、本市は都市計画法第75条に基づく負担金が、なぜ世帯割ではなく面積割なのか。また、審議会決定事項でも矛盾した制度は見直すべきでは。

答 1点目の本市の下水道事業については、旧吉野川流域の徳島市、鳴門市、松茂町、北島町、藍住町、板野町の2市4町と徳島県が共同し、旧吉野川流域下水道事業として平成13年に着手。自治体が個々に下水道を整備するより、行政区域の枠を超えて整備することで効率的に下水を処

理することが可能であり、広域な水質保全が図れるものである。本市としては、県及び2市4町で構成される関係機関と密に連携を図りながら、旧吉野川流域下水道の今後のあり方について検討する必要があると考えている。現在は、国・県の動向を見ながら大幅に縮小し合併処理浄化槽普及促進を並行して行っている。

2点目の受益者負担金については、世帯割より土地所有者に対し1㎡当たり270円の面積割が公平と考え、平成18年度の審議会の決定事項を今後も継続していく。



2市4町から運ばれた汚水を一括して処理する
旧吉野川浄化センター（通称：アクアきらら月見ヶ丘）



みやざき あきら
宮崎 明

西部地区に 防災拠点施設を

問 本年2月定例会で防災拠点施設「消防大麻分署の新築移転に係る庁舎建設基本計画」を策定すると答弁を得ている。本事業は、大規模災害時における拠点施設の整備であり市民も高い関心を持って見守っていることから、同計画のコンセプトを含むその内容と策定の進捗状況は。

答 大麻分署は単なる建替えではなく、複合的機能を有した防災拠点施設として整備するとの判断に至り、本市東部地区が被災した場合における災害対策本部のバックアップ機能の他、地域の交流拠点としての機能も具備した総合施設、（仮称）大麻町総合防災センター構想を検討している。同施設が地域住民の防災面のみならず交流の場として機能するよう住民説明会やパブリックコメントを実施して意見や要望を取入れ、来年度に基本設計等を策定する。

空き地の 適正管理条例制定を

問 本年2月定例会で、空き地の適正管理に関する条例の制定を提言し、同条例の必要性を精査するとの答弁を得ている。条例制定の必要性について再度当局の見解は。

答 条例の制定については、国の制度の見直し状況を注視しながら適用区域指定等の課題について更に調査研究していく。

要望 現下の空き地の実態や市民の意見を総合的に勘案すれば条例制定の必要要件は満たされており、私は既に素案を作成している。後日、執行部当局に同案を送付するが、制定の意思なければ議員提案の条例制定も視野に入れていることを申し入れておく。



管理されていない空き地



うえだ こうじ
上田 公司

深刻な人口減少

問 鳴門市人口ビジョンの第1期計画で2040年の人口減少を5万2000人に抑えるとしていたが、5年後の第2期では4万5000人と7000人も下方修正された。その原因を市民に説明すべきでは。また大麻町での買い物や移動手段の確保について切実な声が寄せられているが。

答 施策を推進する中で実施状況や結果について、必要に応じて進捗状況を報告する。大麻町での市民の移動手段については、市営バス廃止以降、小鳴門橋から板野駅南を結ぶ大麻線を民間事業者と協定を締結して運行することで維持に努めている。

地域に住む市民が安心して暮らせるまちづくり

問 今後どう暮らしやすくなるのか、市民に安心していただけるよう人口減少抑制や移動手段の確保など、ま

ちづくりに関する7町ごとの個別計画の策定を提案するが。

答 総合計画をはじめとする各種計画を各地域の特性を踏まえた上で策定し事業推進に努めており、現時点において町ごとの人口減少抑制等に関する計画を策定する予定はないが、他団体の事例なども踏まえながら調査研究を行う。

観光事業者への支援

問 鳴門公園周辺の事業者からは「せっかくの県や市の支援策が私たちまでなかなか届かない」という声もあり、市が想定する支援の効果と事業者が感じている効果についてずれがあると思うが、市としてそのずれをどう解消するのか。

答 これまでも経済対策事業として消費喚起により経済活性化につなげる事業や事業継続を目的とした給付事業などを行っているが、支援が行き届いていない事業者もある。引き続きコロナ禍における支援の内容や趣旨を事業者へ理解していただけるよう周知徹底に努める。



みつ よしひろ
三津 良裕
(創心クラブ)

鳴門市の人口増加策

問 本市の人口は、9月1日現在、男性2万6614人、女性2万9006人、合計5万5620人、世帯数は、2万6195世帯。県外へ転出するよりも県内へ転出する方が多く、その約90%は徳島市、藍住町、北島町、松茂町へ転出される。理由は、結婚、仕事、生活環境、学区制度を含む子どもの教育環境であるが、ここ一年半余り、コロナ禍の中、医療機関・病院や救急体制が充実している自治体であることが大きな定住の条件になっている。本市には、徳島県鳴門病院をはじめ、45の医院、病院、24の歯科、歯科医院、31の薬局があり、本市全体が、総合病院である。医療体制の充実したまちであるという安心・安全の視点から、「なると未来づくり総合戦略2020」を見直すことについて。

答 令和4年度に策定予定の次期総合計画で示す。

移住支援策、企業誘致策

問 市外、県外からの、一ターンの移住支援として空き家を紹介する「空き家バンク」を充実すること、また、企業誘致にどのような対応をしているのか。

答 移住相談会などで情報提供して、現在では空き家物件に10世帯23名の方が居住している。サテライトオフィス等誘致支援事業を積極的に進めている。



空き家の利用・活用促進事業

問 市内で急増する空き家が老朽化して危険家屋となる前に、例えば、地域の中での老人いこいの家やご近所の方が気軽に集まれる小規模な集会所に準ずる場所などに有効利用・活用する取り組みについて。

答 空き家バンクへの登録件数を増やし、移住支援の促進につなげたい。

要望 定住人口確保・増加策として、地域資源としての空き家の有効活用に関する政策を検討するように。

令和2年度の決算を審査・調査しました

5日間にわたり予算決算委員会を開催し、令和2年度決算に関する議案12件について審査しました。

【委員会審査の中で出た質疑・意見・要望やそれに対する答えを抜粋しました。】

教育

■：質疑
●：市の担当者からの答弁・説明
★：委員からの意見・要望

【教育】

■小中学校の特別教室へのエアコン設置状況は？

- 令和3年度に中学校、令和4年度に小学校の順で設置工事を行う予定としていたが、 昨年の9月末に国の交付金の追加内定があったことから、前倒しして実施し、本年7月末までにすべて完了した。

* * *

■小中学校の特別教室へのエアコン設置率は？

- 今回の工事を経て、普段、児童生徒が授業で使う特別教室へのエアコンの設置率は100%となった。

■国のGIGAスクール構想を受け、令和2年度にどのようなICT機器の整備を行ってきたのか？

- 校内通信ネットワークの整備とそれに伴うサーバや児童生徒および教員に対する1人1台のタブレット端末の整備、市内すべての小中学校の普通教室への電子黒板および書画カメラの整備、臨時休校などに備えたウェブカメラおよびモバイルルータの整備を行った。

* * *

社会・福祉

■：質疑
●：市の担当者からの答弁・説明
★：委員からの意見・要望

【健康】

■不妊治療費助成事業の令和2年度の実績は？

- 補助金を交付した人数は17人、件数は31回、補助合計額は155万1,944円であった。

* * *

■補助を受けた方で出産につながった方の人数は？

- 平成29年度に補助事業を開始してから令和2年度までで、76人が補助金の交付を受けており、そのうち現時点で48人が出産し、5人が妊娠中である。

■いきいきサロンの現状は？

- 市内58カ所にいきいきサロンがあるが、コロナ禍により、5カ所が休止中で、現在、53カ所が活動している状況である。参加者の状況は、令和2年4月時点では944人参加していたが、令和3年4月時点では823人となっている。

* * *

■いきいきサロンの今後は？

- いきいきサロンの箇所数や参加者数が減少していることから、閉じこもりや運動不足の影響により、体力が低下し、要介護状態に陥ることが懸念される。このため、Go Toサロン推進事業として、アフターコロナに向けて、いきいきサロンとスポーツ足袋「ナルトレタビ」のコロナなどで、いきいきサロンへの参加を促したいと考えている。

【福祉】

■子どもの居場所づくり推進事業の現状は？

- 子どもの地域の居場所づくりや子育て支援を目的とした子ども食堂の運営、学習支援を実施する団体に対し、運営するための初期費用や経費の補助を行うもの。令和2年度は、2団体が補助金を活用し、子ども食堂や学習支援を実施しており、2カ所で延べ2,014人が参加した。

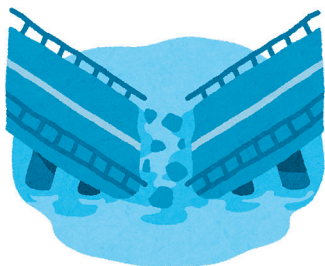
まちづくり

■：質疑
●：市の担当者からの答え・説明
★：委員からの意見・要望

【まちづくり】

■本市の橋りょうの現状は？

- 点検結果として健全度を4段階に区分しており、「健全」と判定された健全度1が115橋、「予防保全段階」の健全度2が532橋、「早期措置段階」の健全度3が68橋、「緊急措置段階」の健全度4が2橋となっている。健全度3については、今後5年間で補修することとしている。橋りょう長寿命化事業では、基本的に修繕を実施し、既設橋りょうの延命を図ることとしているが、コスト面において修繕よりも架け替えが有利な場合には、架け替えを実施することとしている。全体では、修繕が急がれる橋りょうが70橋あり、このうち架け替えが2橋、修繕が68橋となっている。



■道路舗装修繕計画の内容は？

- 令和2年度から2年間で路面性状調査を実施し、計画を策定した。計画の対象となる市道は、市道総延長600kmのうち、避難所へアクセスする重要な路線約30km、134路線となっている。この対象路線について、ひび割れ、わだち掘れ、平たん性を測定し、舗装の健全度評価を行っている。調査結果は4段階で評価し、「劣化度大」が約17kmとなっており、令和3年度より、計画に基づき、年次計画的に舗装修繕に取り組むこととしている。

■水道管路の布設替の進捗状況は？

- 本市の水道管路の総延長は約563kmであり、このうち法定耐用年数である40年を経過した老朽管の割合は42.5%となっている。更新時期を迎えた耐震性能の低い水道管路を対象に布設替を実施している。更新率は年間約1.5%を目標とし、更新費用は年間約8億円を見込んでおり、計画的に実施している。

暮らしを守る

■：質疑
●：市の担当者からの答え・説明
★：委員からの意見・要望

【防災】

- 老朽危険空き家除却支援事業補助金のこれまでの実績は？
- 平成26年度から令和2年度までの実績は84件である。

■決算などをふまえて、今後、予算額を増やしていく考えはあるのか？

- 把握できていない老朽危険空き家についても把握するため、空家等実態調査業務を実施しており、その結果をふまえて検討したい。

■鳴門市新池川洪水ハザードマップCUD（カラーユニバーサルデザイン）検証等業務とは？

- ハザードマップは、色で浸水深などの情報を表示していることから、誰が見ても情報を正確に把握できるようにするため、色彩に配慮し、カラーユニバーサルデザインの認証を取得している。

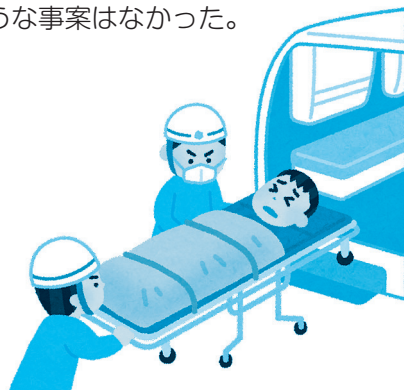
【消防】

■令和2年度の出動件数は？

- 火災出動の件数は28件、救急出動の件数は2,396件であった。救急出動の件数については令和元年度と比較してコロナ禍により減少している。

■新型コロナウイルス感染に伴う救急搬送について、搬送先が決まらず、長時間、現場にとどまった事案はあったのか？

- そのような事案はなかった。



観光・産業

■：質疑
●：市の担当者からの答弁・説明
★：委員からの意見・要望

【観光・産業】

- 「頑張れ！徳島ヴォルティス」になると観光ブランド化・ホームタウン連携事業の令和2年度実績は？
- J1昇格に向けたカウントダウン事業やJ1昇格決定後の祝福ムードを盛り上げる応援機運醸成事業、ヴォルティスロードの整備、プロスポーツ応援マスクシールの作成などを行った。また、看板やのぼりの設置、ヴォルティスロードマップやプロスポーツ観戦パスの作成など、アウェイサポーターの受入環境整備や地域経済の活性化につながる事業を行った。

- 伝統的工芸品振興事業補助金の事業内容は？

- 多くの方に大谷焼を見てもらい、買ってもらうため、例年、春に開催しているスプリングフェスタ、秋に開催している大谷焼窯まつりなどの開催費について、市からの支援を行っている。



生活

■：質疑
●：市の担当者からの答弁・説明
★：委員からの意見・要望

【生活】

- 飼い主のいない猫の不妊去勢手術費用補助事業の令和2年度の実績は？
- 申請枠を上回る71件の申請があったが、捕獲不能などの理由により、最終的な交付件数は47件、総額約47万円であった。

* * *

- 令和3年度の状況は？

- 10月4日をもって補助枠の70件70万円が埋まったため、今年度の受付は終了した。

* * *

- 食品ロス削減の取り組みは？

- 取り組みの一つとして、令和2年6月から市民協働推進課前にフードポストを設置している。設置から令和3年9月末までで約900点の食品をフードバンク徳島や子ども食堂、鳴門教育大学の学生に提供した。食品ロスの削減を図りながら、生活困窮者への支援につなげている。



【スポーツ】

- スポーツ足袋「ナルトレタビ」の今後の活用は？
- 今年度から、いきいきサロンでスポーツ足袋を利用していただくことになっており、高齢者にスポーツ足袋を身近に感じていただきたいと考えている。また、小・中学生から高齢者までの幅広い世代の方に使用していただきたいと考えている。

- 今後の販売方針は？

- 地方創生に関する包括連携協定を締結している企業のECサイトでの販売やふるさと納税の返礼品として使用していくなど、全国販売も含めて、スポーツ足袋を使ったトレーニングを「鳴門モデル」として全国に発信していきたい。

* * *

- 障がい者スポーツの普及促進にどのように取り組んでいるのか？

- 障がい者ふれあい交流授業として、年に3回程度、実際に障がい者スポーツに取り組んでいる方と交流しながら、小学生に車いすスポーツを体験していただき、障がい者スポーツの魅力を感じてもらっている。また、勤労者体育センターで毎週金曜日に車いすバスケットボールの体験会を総合型スポーツクラブの方々にしてもらっている。



* * *

- 幼児期におけるマルチスポーツを推進するための取り組みは？

- 総合型スポーツクラブの指導者が各園を訪問し、陸上や体操、ボール投げなどのさまざまな種目のスポーツを園児に体験してもらっている。令和2年度は10園82回延べ2,141人に体験していただいた。



その他

■：質疑
●：市の担当者からの答弁・説明
★：委員からの意見・要望

【財 政】

- 令和2年度末の市債残高は？
- 約268億5,000万円である。
- * * *
- 令和元年度と比較して令和2年度の実質公債費比率が0.8パーセント低下した要因は？
- 標準財政規模が増加したことによるものである。
- * * *
- 令和2年度末の基金残高が令和元年度末と比較して、約4億6,000万円増加した要因は？
- 減債基金および庁舎整備基金への積立てが増加したことによるものである。
- 



【ボートレース】

- BOAT RACE鳴門のリニューアル前後の売上額と利用者数の推移は？

- リニューアル前の最終年度の平成25年度と令和2年度を比較すると、売上額は約238億円から197%増の706億円に、年間利用者数は約457万人から190%増の1,324万人になっている。ただし、売上げの中心が電話投票に移行しており、本場の売上げや来場者数は減少している。

* * *

- どのようなギャンブル依存症対策を実施しているのか？
- ギャンブル依存症への不安のある方の相談窓口の設置やポスター、ウェブサイトでの啓発・注意喚起を行っている。また、ギャンブル依存症になる方は、未成年の時に舟券を購入し始めた方が多いという統計があることから、未成年者の舟券購入防止策として、出走表、ポスター、ステッカー、場内アナウンスで呼びかけを行っている。
- 
- An illustration of a person with dark hair and a distressed expression sitting at a slot machine. Several blue banknotes are shown falling from the machine and floating in the air around the person. The person is holding a lever on the right side of the machine. The machine has a screen displaying a game with blue and white elements.



《令和 3 年 第 4 回定例会の開催について》

令和3年第4回定例会の会期は、11月30日から12月16日までの17日間です。

第4回定例会開会前の11月21日に鳴門市議会議員選挙が行われ、新しい議員が決定していますが、**改選前の議員の任期が令和3年12月17日までとなっているため、第4回定例会は改選前の議員で行います。**



令和3年11月21日市議会議員選挙

改選前の議員の任期

平成29年12月18日～令和3年12月17日

第4回定例会
令和3年11月30日(開会)
改選前の議員
で行います

改選後の議員の任期

令和3年12月18日～令和7年12月17日

第3回臨時会
令和3年12月27日(開会)予定
改選後の議員
で行います

ご意見箱

～議会活動に関するご意見を募集しています～

鳴門市議会では、市民の皆様からの議会活動に関する幅広いご意見をいただくため、「鳴門市議会 ご意見箱」を設置しています。

議会活動に関して日頃から感じられていることやお気づきの点がございましたら、お気軽にご提出ください。

【提出方法】

次のいずれかの方法でご提出ください。

- ①鳴門市議会公式ウェブサイトの「鳴門市議会 ご意見箱」ページから「入力フォーム」に必要事項をご入力の上、送信してください。

<https://www.city.naruto.tokushima.jp/gikai/ikenbako/index.html>

- ②鳴門市役所 本庁舎 1 階 受付前にご意見箱を設置していますので、付属の用紙に必要事項をご記入の上、投函してください。

※ご意見に対する回答はいたしかねますが、個人情報に配慮の上、鳴門市議会公式ウェブサイトなどで紹介させていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※個人に対する誹謗・中傷などは、お断りいたします。



本会議や委員会などの傍聴について(お願い)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、しばらくの間、本会議や委員会などの傍聴については、次のとおり傍聴人数を制限させていただきます。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

議 場：6 人以内

委員会室：傍聴なし

※本会議の様子は、インターネットによる配信やテレビ鳴門での放送にて、委員会の様子は、インターネットによる配信にて、ご視聴いただけますのでご利用ください。

令和 3 年第 4 回定例会の日程 (11月30日～12月16日)

日	月	火	水	木	金	土
11月28日	29	30	12月 1 日	2	3	4
	全員協議会 議会運営委員会	開会／本会議 予算決算委員会	一般質問 通告締切			
5	6	7	8	9	10	11
	一般質問(代表)	一般質問(個人) 議会運営委員会	一般質問(個人) 予算決算委員会	総務文教委員会	生活福祉委員会	
12	13	14	15	16	17	18
	産業建設委員会		議会運営委員会 全員協議会 議会運営委員会	本会議／閉会		
19	20	21	22	23	24	25
					全員協議会	
26	27	28	29	30	31	1月 1 日
	第 3 回臨時会 開会／閉会					

■(赤字) はケーブルテレビ中継とインターネット中継、■(緑字) はインターネット中継を行います

議会を動画で見よう！

本会議と委員会の様子は、インターネット中継と録画配信でご覧いただけます。なお、本会議の様子は、テレビ鳴門でも生放送に加え、録画放送を行っています。ぜひご覧ください。

《議会広報委員会》

委員長：高麗 裕之
副委員長：宅川 靖次
委員：東谷 伸治・宮崎 明・山根 巖
松浦 富子・潮崎 憲司・秋岡 芳郎
上田 公司

■会議録を見よう■

次の 2 つの方法で一般質問などの内容を詳しく確認することができます。

【議会事務局の窓口で見る】

- ①役所本庁舎 3 階の議会事務局へお越しください。
- ②見たい会議録をお伝えください。



【ウェブサイトから見る】

- ①「鳴門市議会」を検索
- ②鳴門市議会公式ウェブサイト内の「会議録検索システム」から見たい会議録を検索



URL <https://ssp.kaigiroku.net/tenant/naruto/pg/index.html>

※本紙はカラーユニバーサルデザインに配慮して作成しています。